

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

必ずお守りください



電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしてください。

▶発熱による火災や故障の原因になります。



使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止してください。

▶ショートや発火する恐れがありますので、弊社商品お問合わせセンターまでご相談ください。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。

▶感電の原因になります。

お 取 り 扱 い



修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改善は行なわないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。

ケトル本体を水につけたり、水に濡らしたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わないでください。火傷・感電・けがをする恐れがあります。

MAX(満水)目盛り以上の水を入れないでください。火傷・感電・けがをする恐れがあります。



湯沸かし中は、ふたを確実に閉めてください。ふたを開けたまま使用しないでください。湯が流れ出て火傷をすることがあります。

ケトルを転倒させないでください。湯が流れ出て、火傷の恐れがあります。

ケトルを傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しないでください。湯が流れ出て火傷をすることがあります。

注ぎ口やフタをふきんなどでふさがしないでください。湯がふきこぼれて、火傷をすることがあります。

直火(ガス台など)や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に載せないでください。火災の原因になります。

電 源 ・ コ ー ド



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。



コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

絵 表 示 の 例



記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が表記されています。



記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が表記されています。



注意

誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。

お 取 り 扱 い

不安定な場所や熱に弱い敷物の上やカーテンなど、可燃物の近くで使わないでください。火災の原因になります。

壁や家具の近くで使わないでください。蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

ストーブやガスコンロなど熱源のそばで使わないでください。本体のプラスチック部分が熱で損傷することがあります。

湯沸かし中は、移動させたり、湯を注いだりしないでください。湯が流れ出たり、蒸気で火傷をすることがあります。



湯沸かし中または湯沸かし直後は本体外側が熱くなり、注ぎ口などから熱い蒸気が出ますので、フタを開けたり、注ぎ口に触れたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。火傷の原因になります。

ケトル本体に水が入っていないときは、スイッチをONにしないでください。故障の原因になります。

牛乳を沸かす、紅茶を煮出す、スープを作るなど、湯沸かし以外の目的で使用しないでください。また、瓶やカップなど、水以外のものを製品の中に入れてください。故障や汚れの原因になります。

100V～130V及び、220V～240Vの範囲以外では使わないでください。故障や事故の原因になります。

使用中に電圧切替スイッチの切り替えを行わないでください。故障や事故の原因になります。

電 源 ・ コ ー ド



使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

ご 注 意

- 本製品は湯沸かし専用にお使いください。水以外のものは沸かさないでください。
- 本製品に保温機能は付いていません。

《 海 外 の 電 気 事 情 》

- 洗面所のコンセントは電気カミソリ専用の低電流になっている場合があります。室内のコンセントをご使用ください。
- 室内でも掃除機専用になっていて、チェックアウト後にしか通電しないコンセントがあります。電気製品が作動しない場合は、別のコンセントをご利用ください。
- コンセントの横にスイッチがあり、スイッチを入れないと通電しないタイプがあります。

各 部 名 称



ご 使 用 前 に

- 初めてケトルを使用する際は、ポット内を2～3回すずぎ、1度沸騰させてください。沸騰後は沸いたお湯を捨て、再度すずいでからご使用ください。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かすと、水に含まれるミネラル成分がケトル内部に付着しやすくなりますのでご注意ください。

お 湯 の 沸 か し 方

1 電圧をセットする



使用する国や各地域の電圧に合わせて、電圧切替スイッチを切り替える。この時、スイッチが止まるまで、しっかりと確実に切り替えてください。

ご 注 意

- 初期設定は220V～240Vになっています。
- 日本国内で使用する場合は100V～130Vの位置に切り替えてからご使用ください。
- 電圧切替スイッチは、電源プラグをコンセントに差し込む前に切り替えてください。
- 電圧切替スイッチが100V～130Vの位置の時には、絶対に220V～240Vの電圧で使用しないでください。

2 水を入れる

フタを開け、水位メモリを目安にして、ケトルに必要な分量の水を入れてフタを閉めてください。

ご 注 意

- 水以外は入れないでください。
- 水の最低水位以上、最高水位以下の範囲内でご使用ください。入れすぎますとふきこぼれる恐れがあります。また水を入れないまま空だきをしないでください。故障や事故の原因になります。
- 本体外側や底面に水滴が付いている場合は、必ず拭いてからご使用ください。

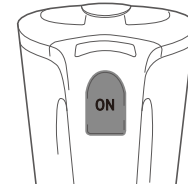
3 コンセントへつなぐ

電源プラグをコンセントへ差し込みます。

ご 注 意

- 電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしてください。発熱による火災や故障の原因になります。
- 海外でご使用される場合は、国や地域によってコンセント差し込み口形状が異なります。ご旅行先のコンセント形状に合わせた変換プラグをお買い求めください。海外のコンセントと変換プラグは外箱を参考にしてください。

4 電源を入れる



本体取っ手の上部にあるON(電源)スイッチを押して電源を入れます。本体下部にある電源ランプの点灯を確認してください。

ご 注 意

- 湯を沸かしている最中は絶対にふたを外したり、蒸気に手や顔を近づけないでください。火傷をすることがあります。
- ※必ず水が入っていることを確認してから電源スイッチを入れてください。
- ※お湯が沸くと電源スイッチは自動的に切れます。
- ※フタを閉めないで使用すると、蒸気を感じて動作する安全装置が動作しなくなり、沸騰し続けて危険ですので、必ずフタを開めてご使用ください。
- ※沸騰かし中は、本体の移動や傾けたりしないでください。(火傷やふきこぼれの原因になります)

5 お湯を注ぐ

沸騰すると、自動的に電源が切れ電源ランプが消えます。電源プラグをコンセントから外し、沸騰状態がおさまってからお湯を注ぎます。

ご 注 意

- 電源ランプが消えていることを確認してからお湯を注いでください。
- 使用後はケトル内にお湯を残さず、必ず空にしてください。
- ※沸騰直後は、取っ手部分以外は高温になっていますので触らないようにしてください。

6 連続使用する場合

2～5まで、同じようにご使用ください。

ご 注 意

- 使用直後は蒸気センサーが働いているため、連続使用できない場合があります。電源スイッチがONにならない場合は、蒸気センサーの温度が下がるまでお待ちください。温度が下がると電源スイッチが入るようになります。

《 ご 使 用 上 の 注 意 》

- ・本体を取っ手側に傾けないでください。底面の水抜き穴からお湯が流出し火傷の危険があります。
- ・お湯を注ぐ時やふたを開ける時は熱い蒸気が出ますので、火傷をしないようにご注意ください。
- ・沸騰を途中で止めたい場合は、電源プラグをコンセントから引き抜いてください。

お 知 ら せ

- 湯沸かし中または湯沸かし直後は、取っ手が部分的に、多少熱さを感じることがあります。
- ケトル使用後しばらくすると、カチンと音がすることがありますが、これは熱せられたプラスチックや金属部分が冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。安心してお使いください。
- 電気ケトルは蒸気を感じてスイッチが切れる仕組みになっています。この蒸気が、取っ手の下から水滴となって垂れることがありますが、故障ではありません。また、故障の原因になることもありませんので、安心してお使いください。
- 電源スイッチがONになっている場合は、電源プラグを差し込んだ時に電源が入り、湯沸かしが開始されます。
- 使用直後は蒸気センサーが働いているため、連続使用ができない場合があります。電源スイッチがONにならない場合は、蒸気センサーの温度が下がりOFFになってから電源ボタンを押してください。

お 手 入 れ 方 法

本体外側の お手入れ

- ・必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってください。
- ・やわらかい布で拭いてください。頑固な汚れにはぬらした布に中性洗剤を含ませて擦り、拭き取ってください。
- ・故障の原因になりますので、ケトル本体を水に浸けることは絶対におやめください。
- ・磨き粉や金属タワシ、漂白剤などを使うと傷がついたり変色する恐れがありますので、ご使用はおやめください。

本体内側の お手入れ

- ・本体内側の汚れ(白い浮遊物、虹色などの変色、赤さび状のはん点など)は、本来水に含まれるミネラル成分の作用によるもので衛生上問題ありませんのでご安心ください。なお、汚れが目立ってきたら定期的にお手入れをしてください。

通常のお手入れ

使用後は、水でよくすすいでください。その後、乾いたふきんなどでしっかりと拭いてください。

汚れが落ちにくい場合 ～ 酢を使って～

- ① 水を目盛3つ分(300ml)と酢(通常のもの)を目盛1つ分(100ml)入れてそのまま1日置いてください。
- ② 1日が経過したら水を捨て、十分にすすいだ後に水を400ml入れ、フタをして沸騰させます。
- ③ 沸騰後、お湯を捨ててもう一度よくすすいでください。
- ④ 上記処置をしても汚れが落ちなかったり臭いが残っている場合は、もう一度手順通りにくり返してください。

※ヒーター部分をこすったり、強く洗ったりしてキズをつけないようにしてください。